

【大伴家持文学賞の概要】

- 趣 旨 越中において数々の秀歌を生んだ大伴家持の生誕 1300 年を記念して世界のすぐれた詩人の業績を顕彰する大伴家持文学賞を創設し、もって富山県民をはじめとする人々の心豊かな人生の創造に寄与することを目的とする。
- 主 催 富山県
- 後 援 外務省
- 対 象 世界において、優れた詩歌*の業績をあげた詩人。
国籍・居住地は問わない。日本との関わりの有無は考慮しない。
*詩歌 さまざまな形式をこえて、韻律を持つ言語表現
- 推薦方法 各国文学の専門家、詩歌に関する有識者、詩歌実作者等からの他薦による公募
- 推薦書式 所定の推薦書の様式による推薦
- 賞・賞金 賞状、メダル及び賞金 200 万円
- 受賞者 1 名
- 募集期間 2019 年 7 月 31 日～2019 年 11 月 30 日

○選考委員

氏 名	役 職 等
亀山 郁夫	名古屋外国語大学学長（ロシア文学者）
中尾 まさみ	東京大学大学院総合文化研究科教授（英語圏文学研究者）
中西 進 ★	国文学者、高志の国文学館館長
藤井 省三	名古屋外国語大学教授、東京大学名誉教授（現代中国語圏文学）
松浦 寿輝	詩人、作家、東京大学名誉教授（フランス文学研究者）
和田 忠彦	東京外国語大学名誉教授（イタリア文学・比較文学研究者）、翻訳家

★選考委員長

【選考対象者数】 109 名（24 の国・地域）